

ひでお行動

VOL.28

<http://www.hideo-y.org/#top>
吉泉秀男の毎日の動きがわかります。
ホームページをご覧ください。

8月17日

地元事務所事務局、今日までお盆休み、秘書Aと9時過ぎから事務整理などで事務所へ、今日から出勤という会社も多く、電話もかかってくるし、来館者も後援会長はじめ数人、その対応で午前中時間過ぎる。午後1時過ぎに事務所留守にして、山形へ、4時から県連常任幹事会である。

途中、昼食を一度食べたいと思っていた鶴岡市「みどり食堂」に時間余裕あるので立ち寄る。昼時間終わったのに満席、すべてのメニューが、ものすごい大盛りである。秘書Aはカレーを3分の1残す、私は野菜冷やし中華、何とか麺だけは食べ切れたが、具等食べ残す。周りのお客さん残さず食べきる、中には大盛りを頼み食べつくす。さすがである。自信のある人は1度は足を運ぶことを奨めたい。味はけっこういけますから……車の中で明日の質問について政策秘書と連絡しながら原稿整理。

常任幹事会は、参議院議員選挙総括会議を24日に控えて、提案する総括内容論議である。たたき台を中心に委員全員から意見を述べてもらう。予定時間がオーバーし論議、社民党再建に熱い想いが伝わる。地元紙記者終るのを待っていてコメント求められる。終わった後暑気払い。代表引き受けてから始めての酒飲みである。酒を交わしながら再建に向けた論議は続く。しかしまだまだ本音の論議にはなっていないように感じるし、引き出せない自分の力不足を感じる。

最終新幹線で上京、今新幹線でブログを打っている。宿舎に1時前つく予定。

8月18日

お盆休みも終わり、久しぶりに議会執務室3人揃う。週間通信、月間ニュース今日発行日であり、午前中原稿修正し発行する。

午後から青少年問題特別委員会、理事会、委員会開催、荒井大臣に変わり始めての委員会である。大阪西区のマンションの部屋に3歳の長女と1歳の長男の遺体を放置したとして、23歳の母親が死体遺棄で逮捕された事件、児童虐待がテーマである。質問バッテリー最



後であり15分の持ち時間である。若い母親が1人で幼い2人の幼児を育てる、ましてや母親は夜の仕事である。同じ境遇におかれ頑張っている女性にとってはあまりにもショッキングな事件である。若い母親を責める……心の中も含め虐待で痛ましい死亡事故が増え、児童虐待に関する相談件数も4万件を越している。

眠らない街、夜に働く若い母親も多く、放置される幼い児童が増えてきている。今、行方不明のお年寄り問題が大きくなり調査が進み状況が明らかになってきていが、放置されている幼児も、その実態が捉えきれない。これから実態調査に入ろうとしているが、調査前に十分な議論し意思疎通を図りながら調査に入りたい。そこからでない対策方法など見つけることが出来ないと考える。

3時から農林水産海外視察打ち合わせ、4時から農林水産輸出施策、米の戸別所得補償、MA米、備蓄米、過剰米対策など担当部課長と意見交換する。

8月19日

全国連合常任幹事会、

27日開催の各県代表者会議で議論して頂く選挙選総括最終論議である。同時に辻元議員の離党問題が所属大阪府連合から「離党やむなし、

寛大な措置をお願いする。」という地元の最終見解が文章で出され全国連合として論議。党三役は離党思いとどまるように説得したが意志変わらず。常任幹事各位から対応についてこれまで処分含め色々な角度から意見が出されてきたが。最終結論として大阪府連合の結論も入れて「離党」措置を確認し、国会に会派離脱届けを提出する事とした。総括論議はまだまだ論議尽くされていないが、「敗北の中から展望を明らかにし、次の闘いに活かしていく」その事を政権離脱経過、離脱後の戦略含め判り易く丁寧に行い、各県連合、支部連合、党員の総括たたき台として選対事務局に文案を委任する事を確認する。そして人事について欠員補充も含めて次回委員会で決めていくこととした。

備蓄米管理体制



備蓄米100万トン、MA米100万トンあわせて200万トンの米、販売買い入れ、そして保管業務10月より民間3社に委託される。事故米の不正流通が明らかになっている中で、社民党として保管体制等について日本通運倉庫を現地視察、この倉庫にはMA米21年度産カルホニア米380トン、備蓄米21年度産きらら1020トン、19年度産新潟コシヒカリ1901トンが毎月1回の水分検査等を通し低温倉庫に保管、出荷する際にはカビ検査

など行い出庫になる。その作業、説明等受ける。MA 米は加工用として、備蓄米は米として市場に出回る。この倉庫の保管状況を視察して200万トンと言う大量の管理、すべてを民間委託、1部だけの視察だけでは理解するには無理、過剰米対策等問題が大きくなっている中で備蓄米制度のあり方など、論議していかなければならない。

ワンコイン懇談会

第2回ワンコイン懇談会を6時半から農政、ホームページでお世話になっている政策室 U 氏、O 氏5人で開催。おもしろい。社民党街頭演説から社民党に関心を持ち、自ら入党申し込む。入党のきっかけはそれぞれであるが、労働組合運動、市民運動経験もなしに自ら入党してくる党員はそんなにいない。社民党の出会い、家族の事、今の社民党、選挙の関わりなど話しているうちに時間は経つ、1年半もしないで職場辞め区議選候補者へ担ぎ出され惜敗、浪人しながら社民党ボランティア、アルバイト、社民党に対する思いは熱い。当選見込みがないのに、職場を辞め当選するまで挑戦した自分の経過党員拡大の難しさ、オルグの構え、来春に向けて職場を辞めさせ「茨の道」を歩むよう話し合いを進めている状況など……終電車なしタクシーで宿舍午前なる。

8月20日

K 社解雇 NO2

政策秘書と K 社の本社を指導監督する「渋谷労働基準監督署」訪問する。署長、次長、担当官から事情を聞く。現在の状況

全従業員を解雇した社長は昨日鶴岡市、今日は相馬市で社長の考え方を説明している。鶴岡では①9月中旬に工場再開、規模は100人(解雇者約240人)②本社ビルを売却し未払い賃金と解雇予告手当で半額を支払う。③予告手当で半額と退職金は再建後支払う

労働基準監督署

①鶴岡、相馬の監督署と連携しながら進める。②鶴岡、相馬の解雇日が違うが、支払期限8月末になっており、それまで支払わなければ法違反、今は労働債権を会社を通し確認作業、③労働債権の確認は会社を通し進めるしかない。会社から従業員に通知し不服の場合は申し立てあったものに対応する。

対応策

まず、従業員の実情を把握する。その上で会社の方針を受け入れられるかどうか確認し、不安を抱える人の対応を連合等と連携しながら進める。

3便で帰省し女性部役員会に出席する。議題は

「国会見学ツアー」である。10月24日、25日と決まる。

8月21日

出版パーティー

作家石川好氏、佐高信氏著書、「三元豚に賭けた男新田嘉一」の出版記念パーティー出席、両作家、前庄内銀行頭取町田氏、3人のトークショーから始まる。平田牧場新田会長との出会いから、それぞれの想いを勝手に話をする。「いかに利益を上げるかよりも、その利益をいかに公益の為に使ったか、その事で後世から評価される。」新田会長を石川好氏は論ずる、170ページの本である。ぜひ多くの方から読んで頂きたいと思う。お世話になっている多くの方々が出席されていたが、祝賀会途中で退席させてもらう。

ビアパーティー

祝賀会退席し(株)グローバルマシーンビアパーティーに出席する。6時からであったが7時過ぎになる。会社の顧問を受けているが、議員になってから月1回位しか足を運ぶことが出来なく申し訳なく思う。若い従業員の方々と久しぶりに懇談する。社長を中心に厳しい状況の中で必死に頑張っている姿がある。お世話になっている町内会や会社の方々も招待受け9時すぎまで続いた……



8月22日

後援会事務局会議

10時より事務局会議、私の日程調整を図り役員会研修会を兼ねた政策研修会内容検討、そして明日から海外視察などで来週1週間留守になり。社会新報祭り等の参加体制に意思疎通を図る。研修会は9月10日11日と決める。

酒田港戦略構築市民決起大会、重点港湾祝賀会

5時半から酒田市産業会館において、吉村知事も出席し重点港湾指定された事の経過も含めて、山形県唯一の港「酒田港」を中心とした活力ある酒田、山形県を構築する新たなスタートして多くの方々が出席し開催された。貨物取扱高は60位、今回指定されたが入り変えもある。いかに取扱量を増やしていくのかが問われているが、残念ながらまだ道筋は描かれていない。

